

むさしのスタイル

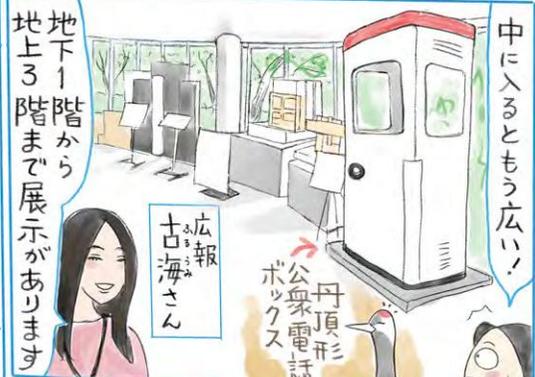
渋谷サ化織

47 NTT技術史料館へ行くこう！

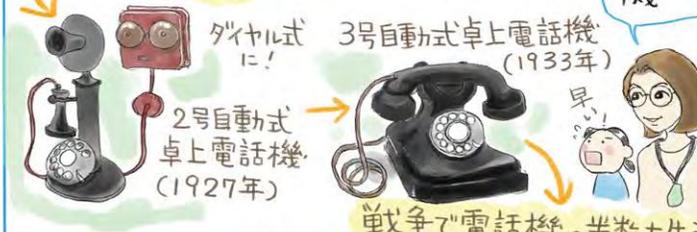
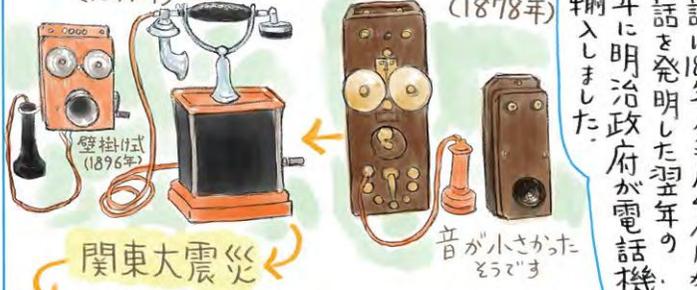
NTT技術史料館は2000年にオープン以来、小学校5年生の社会科学見学に利用されるほか毎週木・金曜の午後1時～5時には一般公開されています。広い館内には日本の電信電話の歴史が、さまざまなレイアウトでぎっしり並んでいます。もう本当にすごいのでぜひ実際に一見になってみてください！行けなくても史料の豊富さを史料館ホームページで感じることができますよ！



初めての人は地下1階「電信電話とはじめ」から！



電話は1876年、グラハム・ベルが電話を発明した翌年の1877年に明治政府が電話機を輸入しました。



「積滞」とは

「積滞」とは
雨電話を設置したいのに
設置が滞っている状態
そこで
公衆電話を
商店に設置(1951年)
電話不足に対応



「即時通話」

「即時通話」
当時市外通話は
オペレーターに申し込み
3時間待ちの
「待時通話」が
普通でした。



1階

雨電話は見事に復興・進化は続く!
フッシュホン
登場!
(1969年)
ポケットベル
(1968年)

日本万国博覧会(大阪)1970年
ワイヤレステレホンを発表



方式は固定電話の子機に近いです。
携帯電話の方式の
実用化は1979年の
自動車電話からです

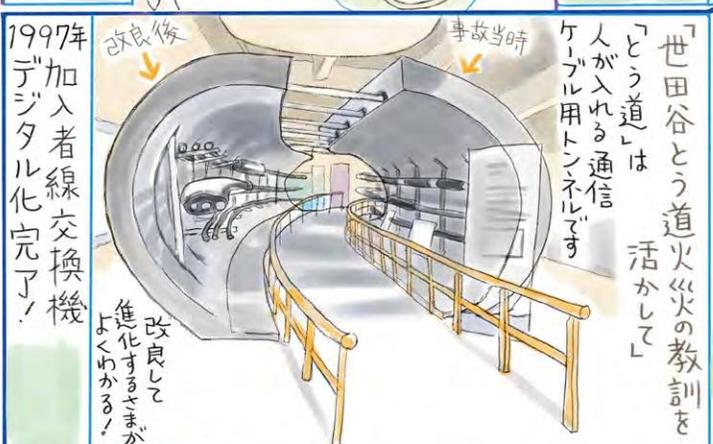


ベルの電話機を輸入してからたった
100年で電話を個人で持つ時代!

2階

1985年
NTT(日本電信電話
株式会社)になりました。

「世田谷とう道火災の教訓を
活かして」
人が入れる通信
ケーブル用トンネルです
光ファイバー母材、これ1本で200km分の
光ファイバーができる。



1997年
加入者線交換機
デジタル化完了!

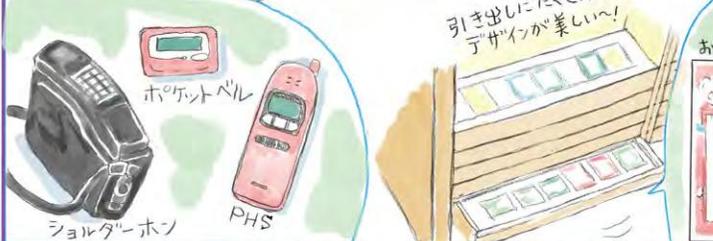
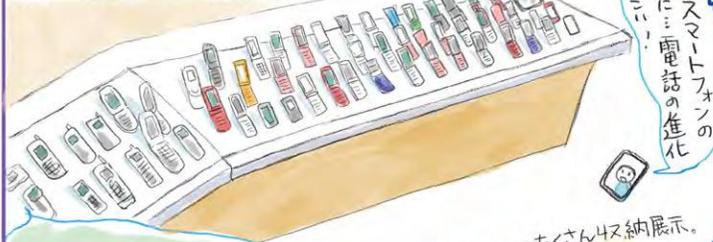
改良後
事故当時
改良して
進化するさまが
よくわかる!

3階

今、新型コナ
の影響で
体験コーナーの
多くが休止中ですが、その中のひとつ
「ささき通信」は、3階と1階にある
ラボラトリーで通信します。
楽しんで!

電話を製作年順に
並べた展示は見る人
によって懐かしい機種が
違うのが面白いぞや。

今年、スマートフォン
時代に、電話の進化
すごい!



今回皆さんの
雨電話を見て、
懐かしさと共に電話が話
した人々の会話なども
思い出しました。
雨電話の進化の歴史は
私たちの生活の歴史の
一部なんだなあと思
い改めた
史感心したのした。

MUSASINO-1B
(1960年)

